

⑤ 重症心身障がい児・者

自分の備え(介助者の備え)

日ごろの備え

- 家族や日ごろ介助している人が外出しているときの災害発生に備え、隣近所の人に万一の際の協力や介助を依頼しておきましょう。
- 非常持出品の中に介助用品や医療的ケアに必要なものを入れておきましょう。
- 避難所によっては、車いす用スロープや空調設備がないところがあります。あらかじめ、避難予定の避難所の設備を確認しておきましょう。
- 医療機器等の外部バッテリーを準備し、バッテリーの持続時間を確認しておきましょう。
- ライフラインが寸断された場合に備え、アンビューバッグ^(※3)(できれば自家発電機も)を用意しておきましょう。

安全な避難

- 避難時に医療機器等の運搬に手助けが必要な方は、事前にどういった機関に支援を求めるか、考えておきましょう。
- 医療的ケアが必要で、避難所への避難が困難な方は、あらかじめ、かかりつけの医療機関に相談しておきましょう。



※3 【アンビューバッグ】 口腔よりマスクを使って他動的に換気を行うための医療機器です。

避難を支援する人

避難行動

- 車いすやストレッチャーでの移動に人手が必要なため、介助者に声をかけて手伝いましょう。

避難所での対応

- 家族や介助をしている方に必要な支援を尋ねましょう。
- コミュニケーションをとるときは、本人にあった方法で行いましょう。(アイコンタクト、スキンシップ、口の動き等)
- 体温の調整が苦手なので、室内の温度に配慮しましょう。
- 手足が細く、骨がもろくなっている方が多いため、介助時に配慮しましょう。
- たんの吸引や人工呼吸器、酸素ポンプの管理等、医療的ケアが必要な場合があります。
- 医療的ケアが必要な方には、緊急的に医療機関への連絡や移送が必要になる場合があります。



重症心身障がい(重度の重複障がい)とは

重度の肢体不自由と重度の知的障がい等が重複した状態を言います。手や足等に重複した障がいと重度の知的障がいがあるため、自力で移動したり座った状態を保ったりすることが難しく、ほとんどの方は常に介助が必要です。